
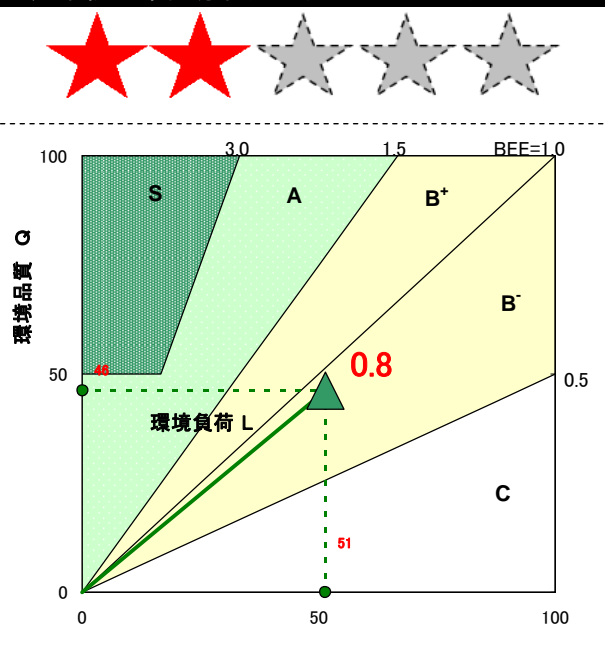


# CASBEE<sup>®</sup>熊本《改修》【性能表示】 (改修後)

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	フードプラザにいだ 高島店	階数	地上2F		
建設地	熊本県八代市	構造	S造		
用途地域	区域区分未設定都市計画区域、防	平均居住人員	30 人		
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,706 時間/年		
建物用途	物販店	改修後の想定使用年数	10 年		
改修竣工年月	2011年2月 予定	改修工事期間	2011年2月1日～2011年2月27日		
新築時竣工年月	2003年5月	評価の実施日	2011年1月11日		
敷地面積	3,501 m <sup>2</sup>	作成者	-		
建築面積	1,513 m <sup>2</sup>	確認日	-		
延床面積	1,545 m <sup>2</sup>	確認者	-		
改修目的	設備の省エネ仕様への転換による温室効果ガス排出の削減	現在までの主な改修履歴	なし	改修対象項目	躯体 - 外装 - 内装 - 設備 LED照明設備の導入

## 1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)




**BEE = 0.8**

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$

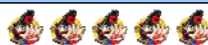




■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	-
B <sup>+</sup>	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	-
B <sup>-</sup>	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	-
C	☆	劣る	0.5未満	-

## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点
		<b>63</b>
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	評価点	72.5
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	評価点	63.7
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	評価点	37.5
【重点事項4】 循環型社会の実現	評価点	71.2

■熊本県重点評価基準

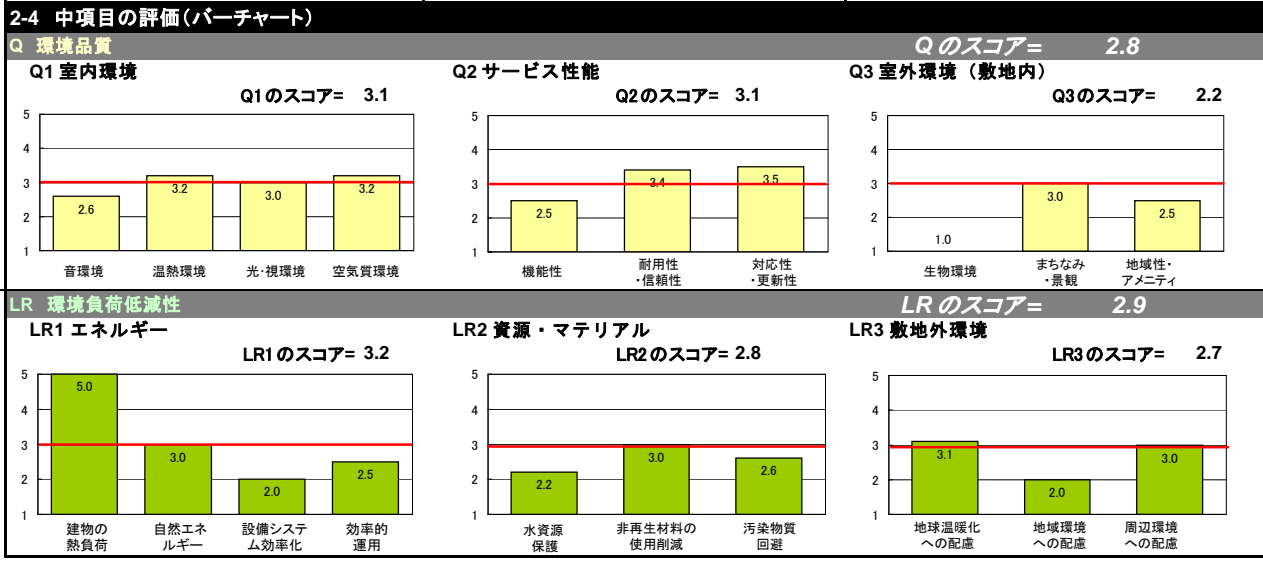
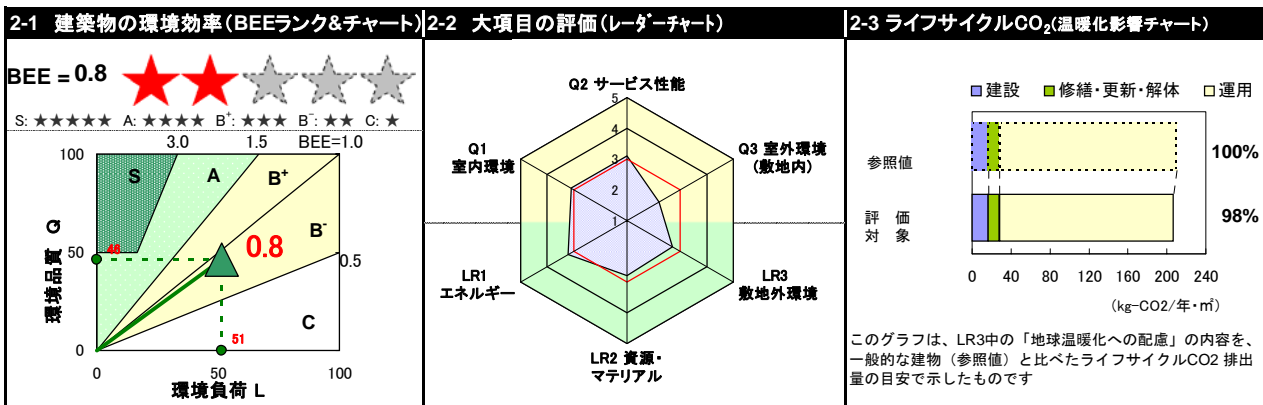
判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

# CASBEE<sup>®</sup> 熊本 《改修》 【評価結果】

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版) 2009年版 (改修後) ■使用評価ソフト: CASBEE-RNb\_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フードプラザにしだ 高島店	階数	地上2F
建設地	熊本県八代市	構造	S造
用途地域	区域区分未定都市計画区域、防火	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,706時間/年
建物用途	物販店	改修後の想定使用年数	10年
改修竣工年月	2011年2月 予定	改修工事期間	2011年2月1日~2011年2月27日
新築時竣工年月	2003年5月	評価の実施日	2011年1月11日
敷地面積	3,501㎡	作成者	-
建築面積	1,513㎡	確認日	-
延床面積	1,545㎡	確認者	-
改修目的	設備の省エネ仕様への転換による温室効果ガス排出の削減	現在までの主な改修履歴	なし
		改修対象項目	躯体 - 外装 - 内装 - 設備 LED照明設備の導入



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

# CASBEE®熊本《改修》【配慮事項】

<b>4 設計上の配慮事項</b>
<b>総合</b>
<p>注) 改修における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 (省エネ改修、室内環境改善、外装の更新、高耐久化、情報化対応、コンバージョンなど)</p> <p>■設備の省エネルギー仕様への転換による温室効果ガス排出の削減</p>
<b>Q1 室内環境</b>
<p>注) 改修における「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
<b>Q2 サービス性能</b>
<p>注) 改修における「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<p>注) 改修における「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
<b>LR1 エネルギー</b>
<p>注) 改修における「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>■設備の省エネルギー仕様への転換による温室効果ガス排出の削減。</p>
<b>LR2 資源・マテリアル</b>
<p>注) 改修における「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
<b>LR3 敷地外環境</b>
<p>注) 改修における「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>
<b>その他</b>
<p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、改修工事における廃棄物削減・リサイクル、改修による歴史的建造物の延命など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>

**CASBEE-改修(簡易版)2009年版**  
**フードプラザにしだ 高島店**

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版)2009年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-RNb\_2009(v.1.3)

④スコア表示シート

配慮項目 [ ]内: CASBEE-既存の項目名	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分				住居・宿泊部分				全体	
		改修前	改修後	重み係数	重み係数	改修前	改修後	重み係数	重み係数	改修前	改修後
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.8</b>	<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>				<b>0.4</b>	<b>0.4</b>					<b>3.0</b>	<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	<b>2.6</b>	0.15	0.15	-	-	-	-	2.6	2.6
1.1 騒音		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.80	0.83	-	-	-	-		
1 1 暗騒音レベル		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
2 設備騒音対策 [等価騒音レベル]		-	-	-	-	-	-	-	-		
1.2 遮音		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音		<b>1.0</b>	<b>1.0</b>	0.20	0.17	-	-	-	-		
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.2</b>	<b>3.2</b>	0.35	0.35	-	-	-	-	3.2	3.2
2.1 室温制御		<b>3.5</b>	<b>3.5</b>	0.50	0.50	-	-	-	-		
1 室温設定 [室温]		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
3 外皮性能	SC:0.27,U=4.5W/m <sup>2</sup> K, 外壁U=0.483	4.0	4.0	0.17	0.17	-	-	-	-		
4 ゾーン別制御性	マルチ型ヒートポンプ方式空調、ゾーン別冷暖切替可	4.0	4.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.20	0.20	-	-	-	-		
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.30	0.30	-	-	-	-		
1 上下温度差		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 平均気流速度		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.25	0.25	-	-	-	-	3.0	3.0
3.1 屋光利用		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.50	0.50	-	-	-	-		
1 屋光率		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 屋光利用設備		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 屋光制御		-	-	-	-	-	-	-	-		
3.3 照度		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 照度		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 照度均斉度		-	-	-	-	-	-	-	-		
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.50	0.50	-	-	-	-		
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.2</b>	<b>3.2</b>	0.25	0.25	-	-	-	-	3.2	3.2
4.1 発生源対策		<b>3.3</b>	<b>3.3</b>	0.50	0.52	-	-	-	-		
1 化学汚染物質		3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
2 アスベスト対策		3.0	3.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
4 レンゾネラ対策	冷却塔がない	4.0	4.0	0.33	0.33	-	-	-	-		
4.2 換気		<b>2.0</b>	<b>2.0</b>	0.30	0.29	-	-	-	-		
1 換気量		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
2 自然換気性能		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		1.0	1.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	<b>5.0</b>	0.20	0.19	-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御	建物内禁煙	5.0	5.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				<b>0.3</b>	<b>0.3</b>					<b>3.1</b>	<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.5</b>	<b>2.5</b>	0.40	0.40	-	-	-	-	2.5	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.57	0.57	-	-	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		3.0	3.0	1.00	1.00	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性		<b>2.0</b>	<b>2.0</b>	0.43	0.43	-	-	-	-		
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		1.0	1.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
3 内装計画		3.0	3.0	0.50	0.50	-	-	-	-		
1.3 維持管理		-	-	-	-	-	-	-	-		
1 メンテナンスに配慮した建材と設計 [総合的な取り組み]		-	-	-	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保 [清掃管理業務]		-	-	-	-	-	-	-	-		
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.4</b>	<b>3.4</b>	0.31	0.31	-	-	-	-	3.4	3.4
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.25	0.25	-	-	-	-		
1 耐震性		3.0	3.0	0.80	0.80	-	-	-	-		
2 免震制振性能		3.0	3.0	0.20	0.20	-	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	0.25	0.25	-	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	3.0	0.25	0.25	-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	2.0	0.25	0.25	-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-	-	-	-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	3.0	0.08	0.08	-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	3.0	0.17	0.17	-	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔	耐用年数20年	4.0	4.0	0.25	0.25	-	-	-	-		



熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 **フードプラザにしだ 高島店**

■評価ソフト: CASBEE-RNb\_2009(v.1.3)\_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《改修》2010年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		63.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
<b>① 温室効果ガス排出量削減の推進</b>				72.5	0.40	29.00
Q1-2.1.3	外皮性能	4.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
<b>② 安全安心で暮らしやすい社会の実現</b>				63.7	0.20	12.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.35			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.35			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.10			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.10			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.10			
<b>③ 県の地域資源の有効活用と保全</b>				37.5	0.20	7.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
<b>④ 循環型社会の実現</b>				71.2	0.20	14.24
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。


◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数




# CASBEE<sup>®</sup>熊本《改修》【性能表示】 (改修前)

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	フードプラザにしだ 高島店	階数	地上2F	
建設地	熊本県八代市	構造	S造	
用途地域	区域区分未設定都市計画区域、防	平均居住人員	30 人	
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,706 時間/年	
建物用途	物販店,	評価の実施日	2011年1月11日	
新築時竣工年月	2003年5月	作成者	-	
経過年数	8 年	確認日	-	
敷地面積	3,501 m <sup>2</sup>	確認者	-	
建築面積	1,513 m <sup>2</sup>	現在までの主な改修履歴	なし	
延床面積	1,545 m <sup>2</sup>			

## 1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

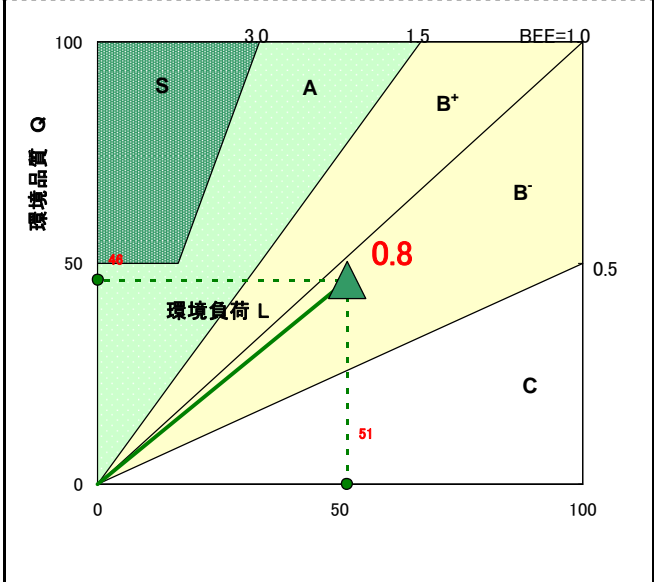


BEE = 0.8

■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$


■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	-
B <sup>+</sup>	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	-
B <sup>-</sup>	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	-
C	☆	劣る	0.5未満	-



## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点  
**63**

重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	72.5
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	63.7
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	37.5
【重点事項4】 循環型社会の実現	71.2

■ 熊本県重点評価基準

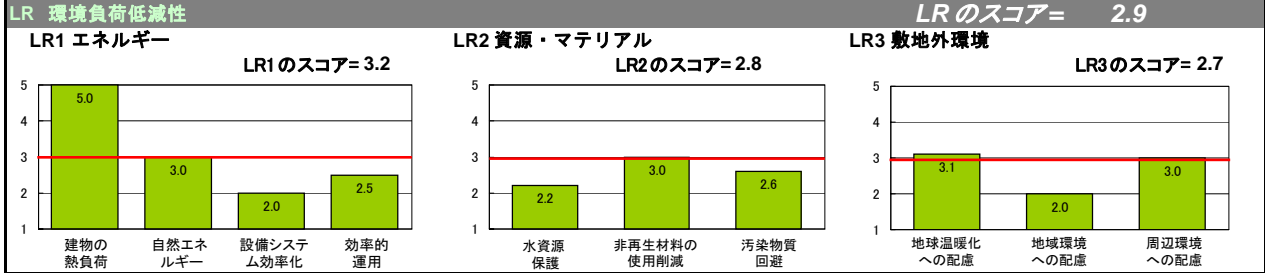
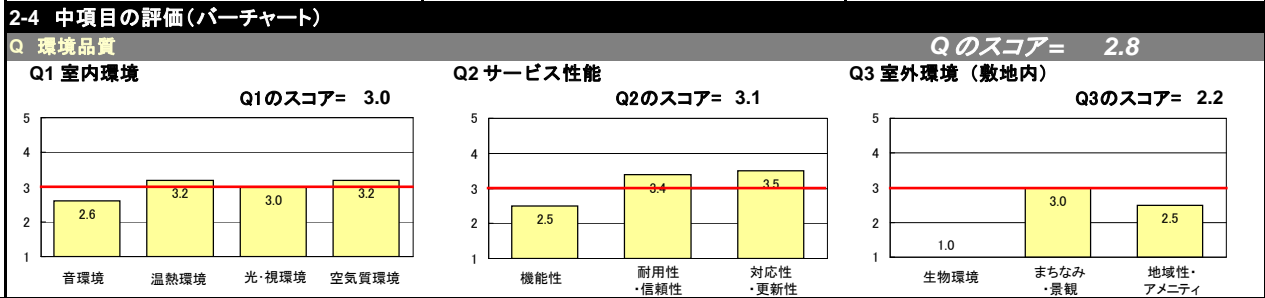
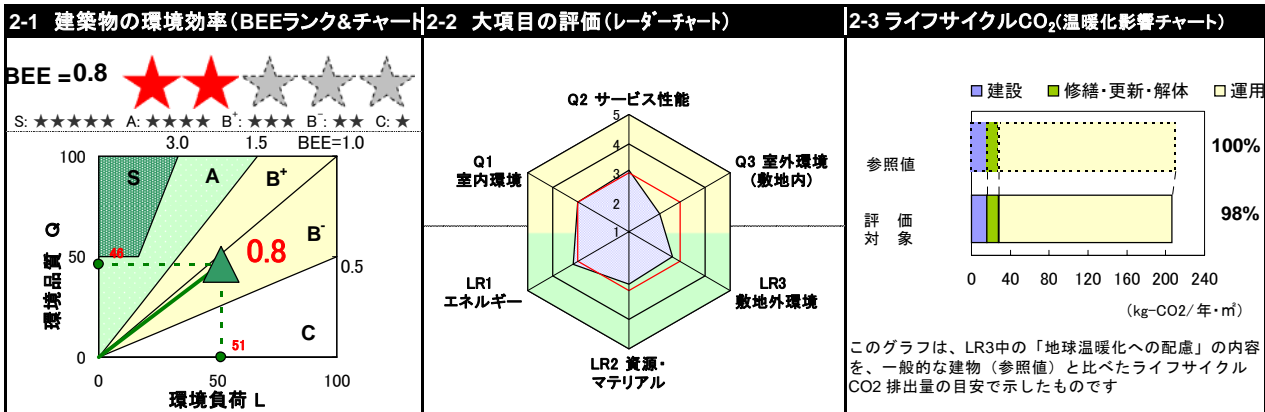
判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

# CASBEE<sup>®</sup>熊本 《改修》【評価結果】 (改修前)

■使用評価マニュアル: CASBEE-改修(簡易版)2009年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-RNb\_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フードプラザにしだ 高島店	階数	地上2F
建設地	熊本県八代市	構造	S造
用途地域	区域区分未設定都市計画区域、防	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,706時間/年
建物用途	物販店	評価の実施日	2011年1月11日
新築時竣工年月	2003年5月	作成者	-
経過年数	8年	確認日	-
敷地面積	3,501㎡	確認者	-
建築面積	1,513㎡	現在までの主な改修履歴	なし
延床面積	1,545㎡		



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



**熊本県重点評価結果スコアシート** 実施設計段階

建物名称 **フードプラザにしだ 高島店**

■評価ソフト: CASBEE-RNb\_2009(v.1.3)\_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《改修》2010年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		63.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
<b>① 温室効果ガス排出量削減の推進</b>				72.5	0.40	29.00
Q1-2.1.3	外皮性能	4.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
<b>② 安全安心で暮らしやすい社会の実現</b>				63.7	0.20	12.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.35			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.35			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.10			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.10			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.10			
<b>③ 県の地域資源の有効活用と保全</b>				37.5	0.20	7.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
<b>④ 循環型社会の実現</b>				71.2	0.20	14.24
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

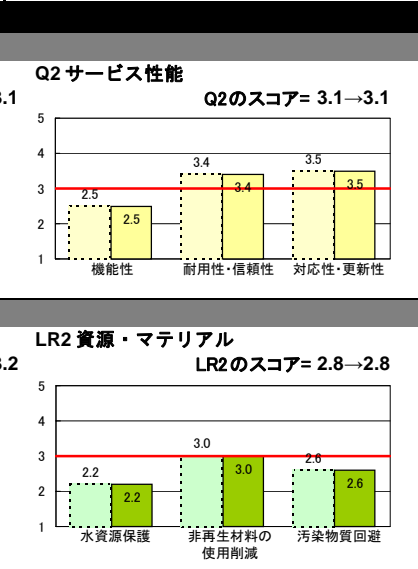
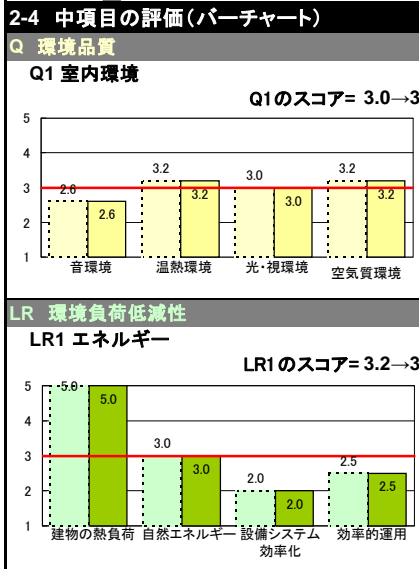
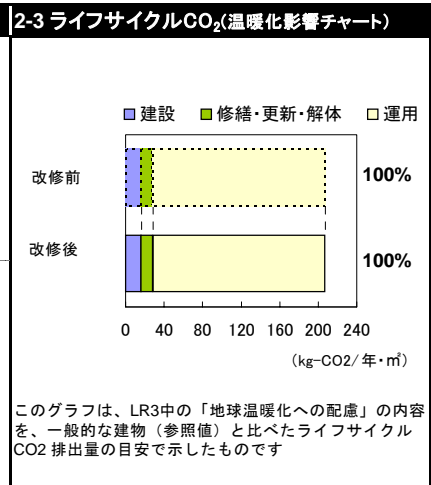
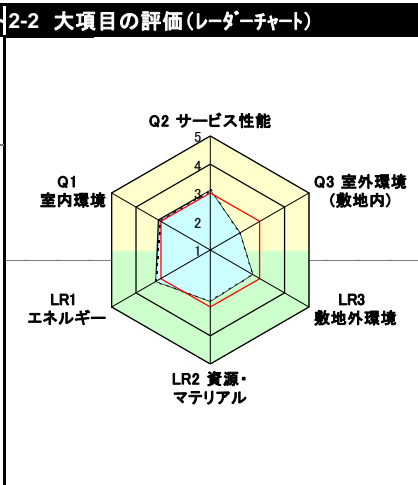
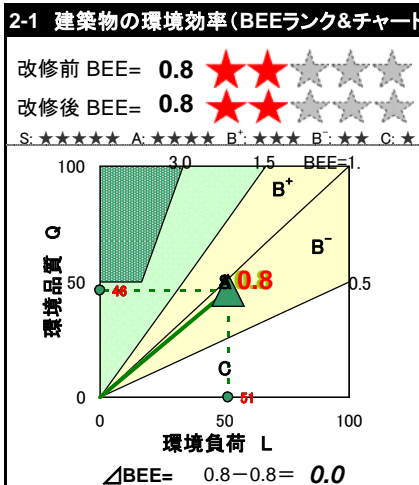
評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。  
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケール

# CASBEE 熊本《改修》【評価結果】

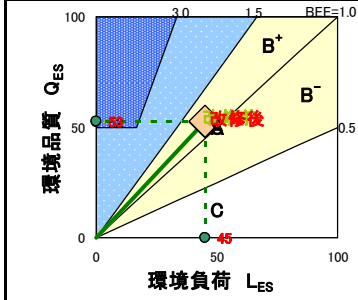
(改修前後の比較)

■使用評価マニュアル: CASBEE改修(簡易版)2009年版 使用評価ソフト: CASBEE-RNb\_2009(v.1.3)

1-1 建物概要		改修後		改修の概要	
改修前		改修後		改修の概要	
建物名称	フードプラザにしだ 高島店	建物名称	フードプラザにしだ 高島店	現在までの主な改修履歴	なし
建物用途	物販店	建物用途	物販店	改修後の想定使用年数	10年
新築時の竣工年	2003年5月	改修竣工年	2011年2月	改修目的	設備の省エネ仕様への転換による温室効果ガス排出の削減
建築面積	1,512.93 m <sup>2</sup>	建築面積	1,512.93 m <sup>2</sup>	改修対象項目	
延床面積	1,544.64 m <sup>2</sup>	延床面積	1,544.64 m <sup>2</sup>	躯体	-
階数	地上2F	階数	地上2F	外装	-
構造	S造	構造	S造	内装	-
平均居住人員	30人	平均居住人員	30人	設備	LED照明設備の導入
年間使用時間	4706時間/年	年間使用時間	4706時間/年	改修工事期間	2011年2月1日~2011年2月27日



4 BEE<sub>ES</sub> による省エネルギー改修評価



$$BEE_{ES} = \frac{\text{省エネ改修評価における建築物の環境品質 } Q_{ES}}{\text{省エネ改修評価における建築物の環境負荷 } L_{ES}}$$

$$= \frac{25 \times (SQ1 - 1)}{25 \times (5 - SLR1)}$$

$$\Delta BEE_{ES} = 0.0$$

$$\text{改修前 } BEE_{ES} = \frac{53}{45} = 1.2$$

$$\text{改修前 } BEE_{BS} = \frac{52}{45} = 1.2$$

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
- LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい